

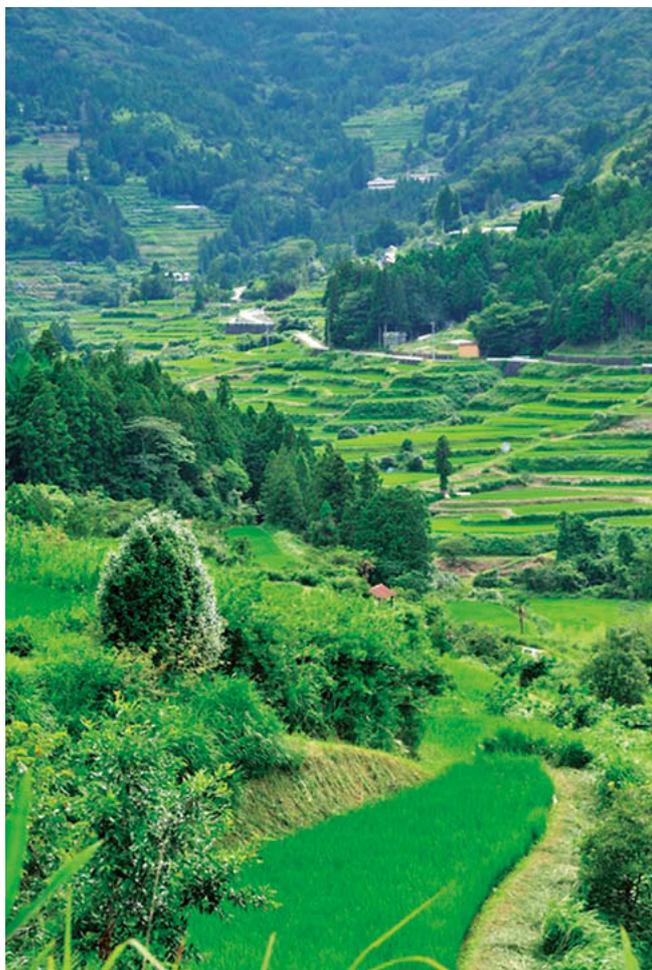
# 里地里山と私たちの暮らし

～過去から未来へ～

日本の伝統的な農村風景である里地里山は、その価値が高く評価されながらも、都市化の影響や農林業の近代化で崩壊の危機を迎えています。しかし、里地里山は、本来人間と自然が共生する姿であり、その再生の道筋を探ることは、日本のみならず世界の農林業がおかれている危機の克服にもつながると期待されています。

そうした趣旨から、日本政府と国連大学は、2010年10月に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）を機会に、連携して未来指向型の“SATOYAMAイニシアティブ”を提唱しようとしています。

私たちの暮らしに身近な里地里山とその世界的な意義を、第一線の研究者から聴き、考えてみませんか。



**日 時**：2010年

**1月23日(土)**  
14:00～16:00

**場 所**：地球環境戦略研究機関（IGES）  
第一会議室（葉山町）（地図は裏面参照）

**講 師**：武内 和彦先生  
国連大学副学長  
東京大学サステナビリティ学  
連携研究機構副機構長

**参加費**：無料

**申 込**：HP上の登録フォームから申し込むか、  
裏面の申込書に記入し、FAXでお送りください。  
登録フォーム URL <http://www.k-i-a.or.jp/>

**申込締切**：1月18日(月) 必着

※1月21日までに受講票をE-mailまたはFAX  
でお送りします。

**お問合せ**：(財)かながわ国際交流財団  
TEL:046-855-1822 FAX:046-858-1210  
E-MAIL: shonan@k-i-a.or.jp

**主 催**：  
**IGES** (財)地球環境戦略研究機関  
(財)かながわ国際交流財団



講師プロフィール：

**武内 和彦**先生



1951年、和歌山市生まれ。専門は、自然を活かした地域づくり。アジアの砂漠化や土地荒廃の防止、巨大都市の環境改善も研究している。最近は、サステナビリティ学の世界的研究拠点形成に向けて奔走している。著書『環境創造の思想』（東大出版会）、『里山の環境学』（共編著、東大出版会）、『地球持続学のすすめ』（岩波ジュニア新書）など多数。

# 湘南国際村アカデミア会場 [地球環境戦略研究機関 / IGES] 交通案内



## 【バスをご利用の場合】

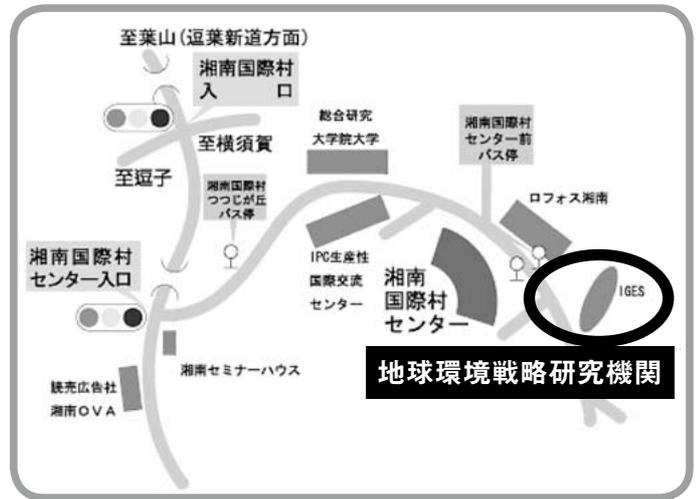
### ① 逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR逗子駅前1番乗り場より16系統「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約30分、料金340円。(JR逗子駅発車後2～3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車)  
開始時間にちょうどよいバスは、**12:53発**です。

### ② 汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約30分、料金370円。  
開始時間にちょうどよいバスは、**12:47発**です。

※その他、11:21逗子駅発、11:07汐入駅発の便がございます。



## 【タクシーをご利用の場合】

JR逗子駅前タクシー乗り場より  
湘南国際村センターまで約15分、料金約2,800円。

## 【交通案内HP】

<http://www.iges.or.jp/jp/access/index.html>

(財)かながわ国際交流財団・湘南国際村学術研究センター  
FAX: 046-858-1210

※下記申込書をファックスでお送りください。ホームページからオンラインでもお申込みいただけます。

<http://www.k-i-a.or.jp/>

※応募締切1月18日(月)、定員80名。

※1月21日(水)までに受講票をE-mailまたはFaxでお送りします。

※お電話でのお問い合わせは、**TEL: 046-855-1822** までお願いいたします。

## 湘南国際村アカデミア 「里地里山と私たちの暮らしー過去から未来へ」 参加申込書

ふりがな			
氏名			
住所	(〒 - )		
電話・FAX	電 話 ( )	FAX ( )	
Eメール	Eメール		

※お送りいただいた個人情報は(財)地球環境戦略研究機関及び(財)かながわ国際交流財団が取り扱い、第三者には提供いたしません。今後、イベント等のご案内をさせていただく場合がございます。